

ふじのくにNPO活動基金運営委員会
第4回寄附募集ワーキング 概要報告

1 開催日

平成24年3月14日(水) (14:00~16:00) 於: 県庁別館7F第1会議室A

2 報告事項

(1) 「NPO支援民間支援基金の設立に向けた検討試案」について

1) 「ふじのくにNPO活動基金」(事業年度平成23~27年度)の事業終了後において

- 民間基金の必要性を各メンバーの立場から確認
- **民設民営の民間ファンドが受け皿として同事業を継承**

2) 民間ファンドの存在意義(NPO法改正による認定NPO法人の増加予想の中)

① **中間支援機能と一体化した民間ファンド**・・助成と組織基盤強化支援をセットで実施

- ファンドレイジングを伴った助成利用(NPOの主体的参加)
- 団体の成長も期待かつ寄附の効果的効率的利用促進

② **共通課題解決型ファンド**・・・個々の団体では取り扱えない社会課題を連携により解決

- 認定NPO法人も含め、他との連携による寄附募集活動活性化が可能

3) 民間ファンドの機能

① **中間支援機能**・・・・県内中間支援組織のネットワーク構築、人材育成、組織基盤強化

② **ファンドレイジング機能**・・・社会貢献活動団体、個人寄附者、企業寄附者

4) 民間ファンド設立に向けた**立ち上げ準備会の設立**(準備会=ワーキング)

- 県内中間支援メンバーがワーキングに参加し、ワーキングを立ち上げ準備会に移行
- 構成、メンバーを第13回基金運営委員会(6月下旬)で報告予定

5) 修正点と今後の検討課題

① 修正点

- 平易な表現への置換(特にNPO業界用語と横文字)
- ミッションの補足、言い回し等の修正

② 次回ワーキングでの検討課題

- 組織合意形成のプロセス
- ファンドレイジングの具体的手法と戦略(対象別、移行期間における展開プロセス)
- 第11回基金運営委員会(4月27日)で最終試案を提出

(2) ふじのくにNPO活動基金ファンドレイジング事業(調査研究)に関する事業報告

静岡県におけるNPOの課題からの提言

- ファンドレイジングの必要性とその全体像を認識(NPO)
- NPO外部との関係性を構築 ← NPOによるメッセージ力ある事業が必要
- ファンドレイザーの育成

(3) 県事務局からの報告

- ・ふじのくにNPO活動基金への寄附の状況

※別紙資料のとおり

3 今後のスケジュール

- ・第5回ワーキング 4月19日(木) 午後2時~ 会場未定(調整後後日連絡)